

「金融仲介機能のベンチマーク」について

◎金融仲介機能の強化に向けた取組み

当組合は近い、早い、親切をモットーにお客様の「夢あるくらしのパートナー」をスローガンに「経営の健全性を保持し、地域社会の発展に寄与する信用組合」を経営方針に掲げ、高度化・複雑化する金融業務に対応できる強固な経営基盤の下、質の高いサービスの提供を通じて地域とともに成長することを目指しています。

最近の経済動向を振り返ると、政府の経済対策により景気は回復基調こそ維持したものの、その足取りには力強さがみられず、当組合の経営基盤における地域では、人口の減少や少子高齢化の進展も早く、依然として厳しい状況が続いていますが、金融行政方針に則り中長期的な経済・社会の動向を把握して、より存在感のある信用組合となるために「第3次経営力強化計画」（平成28年4月～平成31年3月）を策定し、規模の拡大に拘らず、ビジネスモデルの違いによる他行との差別化を図り、地域社会の発展を目指し、様々な施策に取り組んでいます。

こうしたなか、平成28年9月に金融庁より「金融仲介機能のベンチマーク」が公表されました。当組合では「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介機能の強化に向けた取組内容や結果を検証することで、更なるサービスの発展、向上に継続的に取組み、お取引先企業の成長力強化や生産性の向上等をサポートすることで、地域の持続的成長に全力を尽くしてまいります。

※当組合の「金融仲介機能ベンチマーク」各項目の状況は下記の通りです。（平成29年3月末現在の共通ベンチマークの項目を掲載しております。）

◎「金融仲介機能のベンチマーク」とは

金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として、平成28年9月に金融庁から公表されました。

すべての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」と各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」から構成されています。これらに加え、金融機関が金融仲介の取組みを自己評価する上で、より相応しい独自の指標がある場合には、その指標を活用することも歓迎されています。

1. 共通ベンチマーク

基準日：平成29年3月31日

金融仲介機能	ベンチマーク(指標)の内容	当組の状況 (平成28年3月末と平成29年3月末の各種計数をもとに算出しております。)							項目、定義等のご説明
		29/3	28/3						
(1)取引先企業の経営改善や成長力の強化	(単位:社、億円)	29/3	28/3						・当組にてお取引の状況をもとにメインとして位置付けさせていただいているお客さまについて、お客さまのグループ単位で融資残高を集計しております。
	メイン先数	1393	1390						
	メイン先の融資残高	370	377						
	経営指標等が改善した先数	462	533						
	(単位:億円)	29/3	28/3	27/3					
経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	180	190	179					・「売上高」、「営業利益」、「簡易キャッシュフロー」、「従業員数」、「営業運転資本回転期間」、「自己資本比率」を経営指標として経営指標が増加したお客さまをカウントし、融資残高を集計しております。	
(2)取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上	(単位:社)		条変総数	好調先	順調先	不調先			・条件変更を行っているお客さまで当組が中心となり「経営改善計画書」を策定しているお客さまを集計しております。 法人単独でのキャッシュフローにより判定しております。 * 好調先⇒計画比120%超 * 順調先⇒計画比80%~120% * 不調先⇒計画比80%未満
	中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	28/3	346	23	130	193			
		29/3	302	19	133	150			
		29/3	28/3						・創業、第二創業時に創業計画の策定支援や融資実行に至ったお客さまを集計しております。
	金融機関が関与した創業件数	34	33						
	金融機関が関与した第二創業件数	1	2						
	(単位:社、億円)		全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期	・お客さまから頂いた財務データ等をもとに、創業からの経過期間や売上高の推移(過去5期分)をライフステージ別に集計しております。 * 創業期⇒創業・第二創業から5年までの先。 * 成長期⇒売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先。 * 安定期⇒売上高平均で直近2期が過去5期の120%~80%の先。 * 低迷期⇒売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先。 * 再生期⇒貸付条件の変更または延滞がある期間の先。
	ライフステージ別の与信先数	28/3	2289	133	148	1161	425	422	
		29/3	2255	158	175	1275	322	325	
	ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	28/3	550	29	48	261	40	169	
	29/3	566	41	73	291	46	115		
(3)担保・保証依存の融資姿勢からの転換	(単位:社、億円、%)		先数	融資残高					・お客さまの情報をとりまとめた当組独自書類または経済産業省が推奨しているローカルベンチマークを利用し事業性評価を行ったお客さまを集計しております。
	事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	28/3	359	196					
		29/3	494	285					
	上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	28/3	15.7%	35.6%					
		29/3	21.9%	50.4%					